

(社) 日本原子力学会  
第82回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 26 年 11 月 7 日 (金) 13:30～17:00  
場 所 日本原子力学会 事務局会議室  
出席者 大場委員長、作田幹事、内山委員、宇奈手委員、大鷹委員、近藤委員、  
辻委員、名倉委員、福家委員、三村委員、宮澤委員  
柴田副会長 (12名:委員名簿順)

配布資料

資料82-1 第81回倫理委員会議事要旨 (案)  
資料82-2 2015年春の年会(3/20-22)企画セッション提案書  
資料82-3 第18回(2014年度)倫理研究会案R5  
資料82-4 事例集

議事

1. 資料 82-1 により、前回議事要旨 (案) を確認し、了承された。柴田副会長から 9/26 第 3 回理事会において、奈良林氏、宮澤氏および山本氏の委員就任が承認されたことの紹介があった。
2. 資料 82-2 により、2015 年春の年会企画セッションについて、福家委員から説明があった。開催日は 2015 年 3 月 20 日を希望している。企画セッションの報告記事を学会誌に掲載することとした。作田幹事は、原稿様式を福家委員に送付することとした。また、記事には編集委員会の方針により会場風景の写真は含めないことを確認した。
3. 資料 82-3 により、第 18 回倫理研究会について、宇奈手委員から説明があった。研究会のテーマは「より高い安全を目指して組織は何をすべきか～倫理規程を絵に描いた餅にしないために～」とし、パネルディスカッションのテーマは「現状の安全に安心しないヒト、組織とは」とした。会費は、徴収する。報告書は作成することとし、簡易版を倫理委員会ホームページに掲載する。当日の役割分担は、担当委員が決めることとし、作田幹事は当日の委員の出席状況を早めに確認する。宇奈手委員はプログラム案を見直し、委員の確認を経て、11 月 25 日までに最終案を作成することとした。講演者には配布資料の有無の確認を行い、できればレジメを 12 月 20 日までに提出いただくことをお願いすることとした。宇奈手委員は、研究会は独立採算が求められていることから独立採算書(様式任意)を学会事務局に提出する。当日の参加者には、以前作成したケースブックを無償配布することとした。各委員は、関係箇所への周知に努めることとした。前回の研究会関連資料を内山委員から宇奈手委員に送付することとした。
4. 資料82-4により、事例集の作成状況について、宇奈手委員から説明があった。以下の意見があった。検討のポイントについては、事例ごとにばらつきがあってもよく、無理に合わせる必要はない。時系列などの情報については、出典を明記すべき。「行動の手引」と事例の関係を示す表において、すべての関係がとれていないことを「はじめに」でことわることとした。各事例に対し、タスクチーム以外の委員に担当を割り振り、事例の読み込みを実施することとした。本事例集案に対するコメントを、各委員はメールで宇奈手委員に送付することとした。
5. 次回の倫理委員会の日程は、H27年1月9日(金) 09:00～(北海道大学会議室)とした。

以上